

Light up! Brush up!

じ た そんちよう あか
自他を尊重し、まわりを明るくする

しゅたいてき まな つづ じぶん
主体的に学び続け、自分をみがく



発行者 今村 貴文

こうし じゅぎょう すぎもと みなまたびよう もんだい じんけん
講師による授業! 杉本さんから「水俣病」問題と人権について、
くまもとだいがく せんせい たんきゅう たいせつ まな
熊本大学の先生から探究することの大切さについて学ぶ。



本講話は、水俣、芦北での
集団宿泊学習の事前学
習として行いました。

みなまたがくしゅう と
9月16日、1年生は、水俣学習に取り組みました。講師は、水俣病の語り部で、漁師の杉本
肇さんです。杉本さんの生の語りを聞いたことで、命の海を汚された悔しさ、病気の苦し
さ、家族の悲しみ、差別の辛さなどが、1年生の胸に深く響いたようです。

「水俣病に両親がなり、それだけでも杉本さん家族は苦しかったのに、差別まで起こって、
自分だったら耐えられないと思った。」「『正しく知ること』が差別をなくすことにつながるという
ことが分かった。」と1年生は真剣に感想を述べました。

学校HP
2次元
コード



せんもんてき かんきょうきょういく じゅぎょう と く
9月16日、2・3年生は、専門的な環境教育の授業に取り組みました。講師は、熊本大学の
しまだせんせい いいのせんせい
島田先生と飯野先生です。3年生は、島田先生と「イボニシの生殖異常を調べることで、ど
のようなことがわかるだろう?」という課題に取り組み、2年生は、飯野先生と「黄砂がどのよ
うに日本へ来るのか衛星画像から考えよう。」という課題に取り組みました。授業後、3年
生は「はじめ難しい授業かなと心配だったけど、やってみるとよく理解できた。イボニシの生
殖異常を調べる実験を通して、イボニシと環境問題が密接に関わっていることが分かった。」
と、笑顔で感想を述べていました。島田先生も、飯野先生も、「七城の子は、探究心をもって
いる。将来が楽しみ。」と、ほめてくださいました。